

稲作の超低コスト生産確立事業地域広がり支援タイプ[○]における取組例

コンソーシアムの取組

① 生産コスト低減会議の開催	<ul style="list-style-type: none">・有識者を交えた生産コスト低減に向けた進め方の検討会議 (有識者謝金・旅費・会場借上費、資料作成・印刷費等)
② 生産コスト分析	<ul style="list-style-type: none">・専門家へ経営分析を委託し、課題抽出、実証効果のシミュレーション、実証結果の評価を行う・経営診断ツールの導入 (委託費、ツール使用料等)
③ 先進地調査	<ul style="list-style-type: none">・導入を考える技術や機械の先進地（農業者や研究者）視察 (視察先謝金、訪問者旅費等)
④ 技術実証	<ul style="list-style-type: none">・直播栽培の導入に伴う機械リース・地力向上に向けた堆肥施用・水位センサー・自動給水装置、ラジコン草刈り機、ロボットトラクター、ドローンによる労働力削減（作業委託含む）・害虫トラップ、防草ネットによる防除・衛星画像による生育診断・ICTツールによる適期作業・化学肥料から有機肥料への転換 (機械のレンタル・リース費、資材の掛かり増し費等)
⑤ 人材育成	<ul style="list-style-type: none">・経営コンサルによる経営改善指導研修（作業時間計測、4S活動の導入等）・技術実証に必要となる免許の取得（ドローンなど）・土壌分析に基づいた施肥設計の人材育成・農業機械メンテナンスの内製化等に向けた人材育成・データ管理システムの有効活用に向けた人材の育成 (研修費、講師謝金・旅費等)
⑥ 生産コスト低減の取組の普及	<ul style="list-style-type: none">・地域農業者へ経営分析手法や実証効果を共有する会の開催 (有識者謝金・旅費・会場借上費、資料作成・印刷費等)